

## 糸魚川市青海地内における鉛等による土壤汚染について

糸魚川市青海地内において、事業者が実施した土壤調査の結果、鉛が土壤含有量基準を超えて検出され、ふっ素が土壤溶出量基準を超えて検出された旨、本日、上越地域振興局（環境センター）に、報告がありました。

調査結果の概要は次のとおりです。

## 1 概要

- 調査地点：糸魚川市青海地内
- 試料採取日：令和8年1月23、27日
- 検出状況：

## ○ 土壤含有量

有害物質の種類	調査結果	基準値
鉛及びその化合物	170～270 mg/kg	150 mg/kg 以下

## ○ 土壤溶出量

有害物質の種類	調査結果	基準値
ふっ素及びその化合物	1.1 mg/L	0.8 mg/L 以下

## 2 県の対応

- 地下水への影響が考えられる範囲（250m）に、水道水源、飲用井戸、営業用井戸及び農業用井戸を含め井戸がないことを確認しました。
- 事業者に対し、汚染された土壤の飛散流出防止、及び立入禁止等の適切な措置を行うよう指導しました。

(参考)

## ○ 鉛

- 健康への影響  
疲労、頭痛、関節痛、胃腸障害、中枢神経障害、末梢神経障害を及ぼすおそれがある。
- 用途  
鉛蓄電池、ハンダ、合金原料、電線被覆、顔料、銃弾、プラスチック安定化剤等に使用。

## ○ ふっ素

- 健康への影響  
高濃度のふっ素を含む水の摂取によって斑状歯が発生するほか、ふっ素沈着症が生じるおそれがある。
- 用途  
金属の研磨やステンレスの洗浄等に使用。

本件についてのお問い合わせ先  
環境対策課 [担当] 遠藤  
(直通) 025-280-5157 (内線) 2716